

冬
澤氏
二

遠 13
1614
2



1614
2

所本
三又



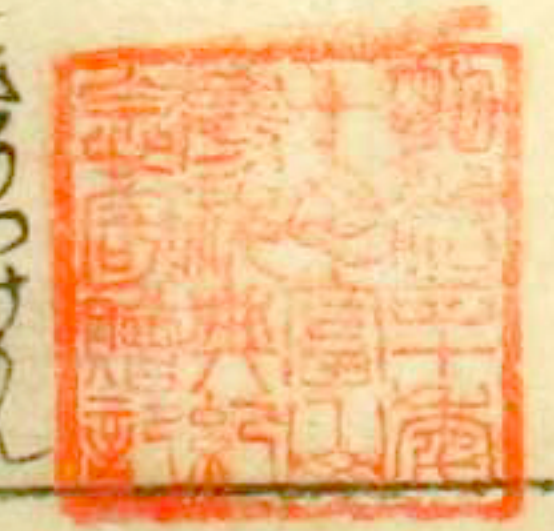
今源氏宣弘

目錄

① 氣まじり



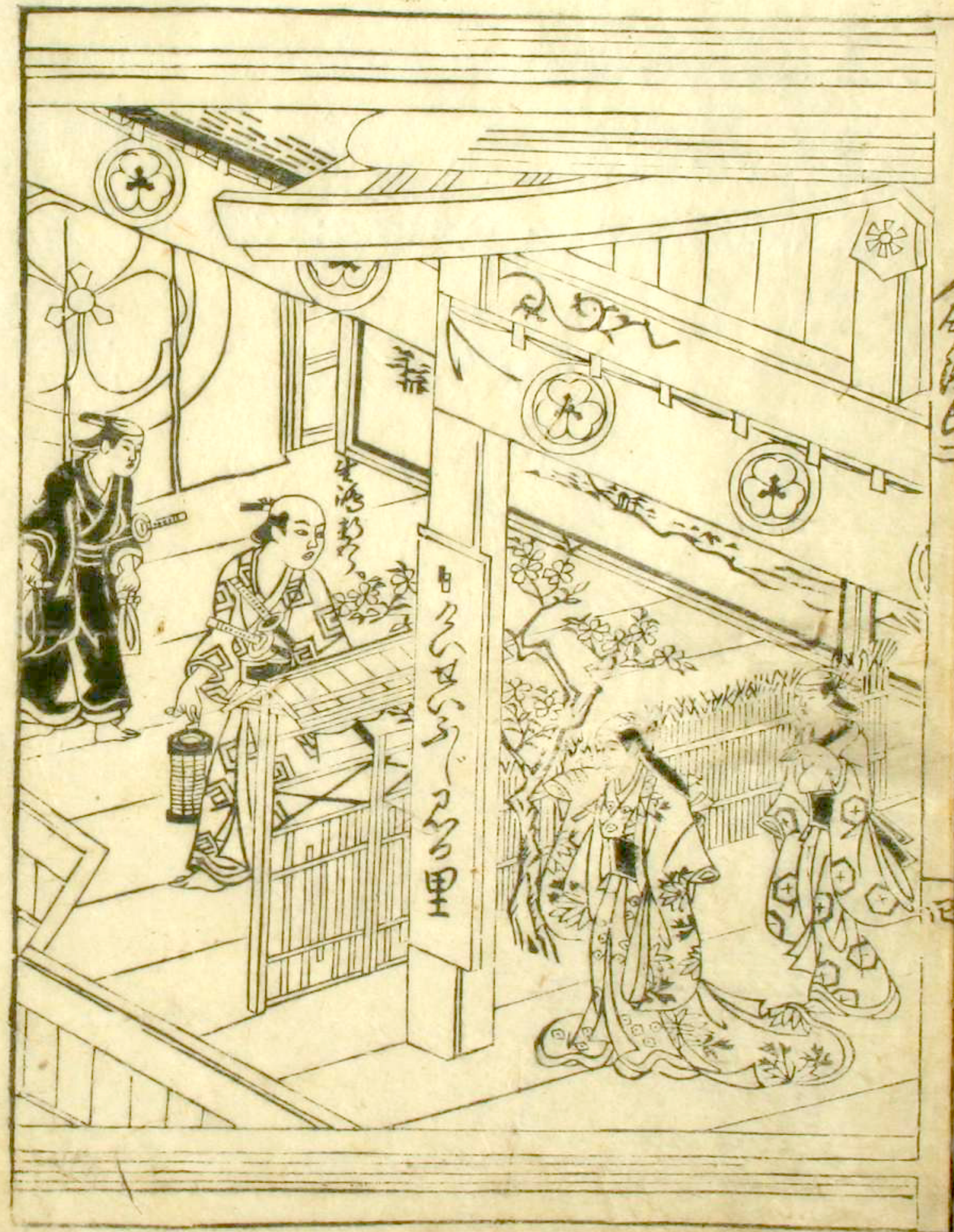
二之巻



新羅紋のやれ切付紋

いそに横城宮土人

うに生活のねを

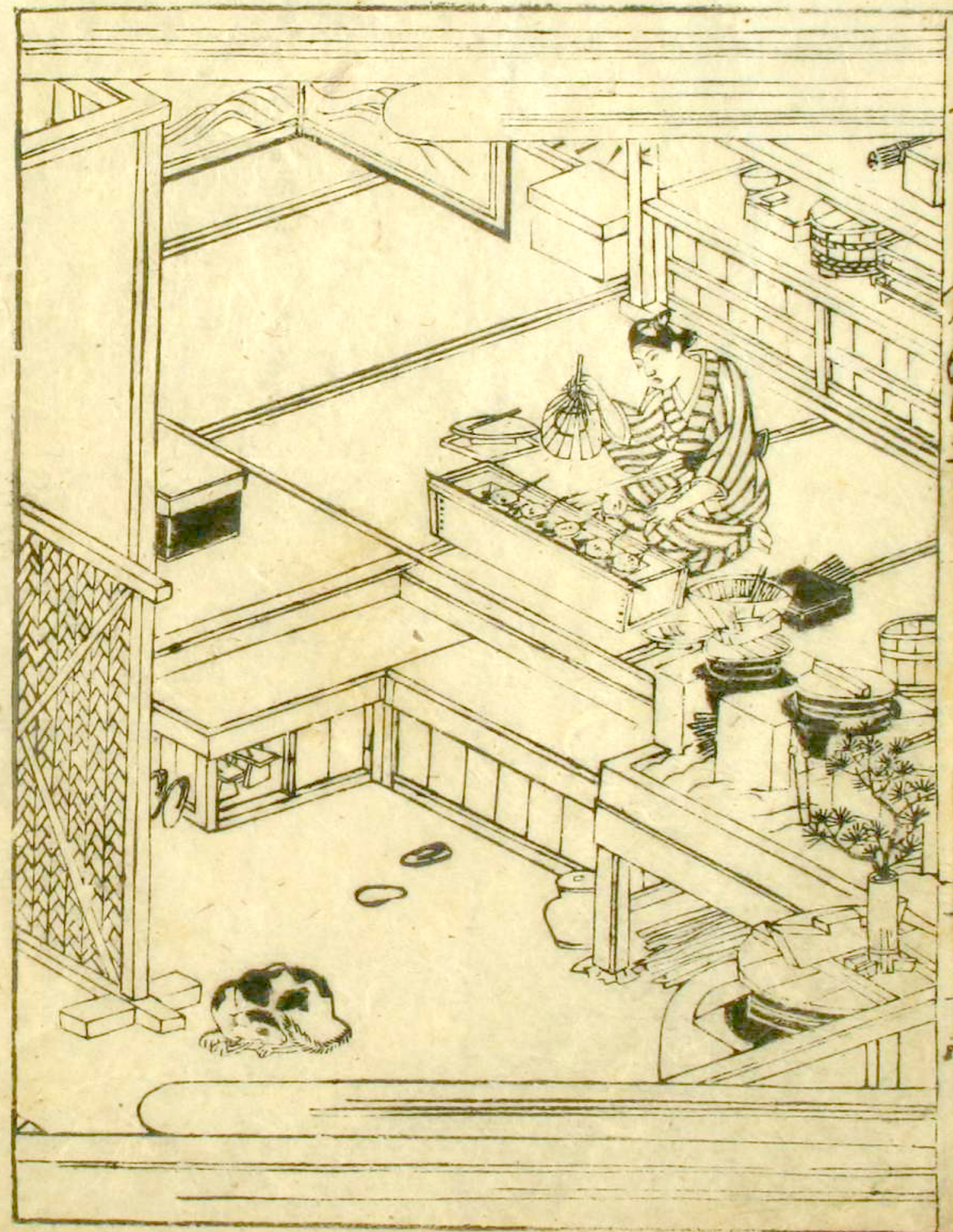
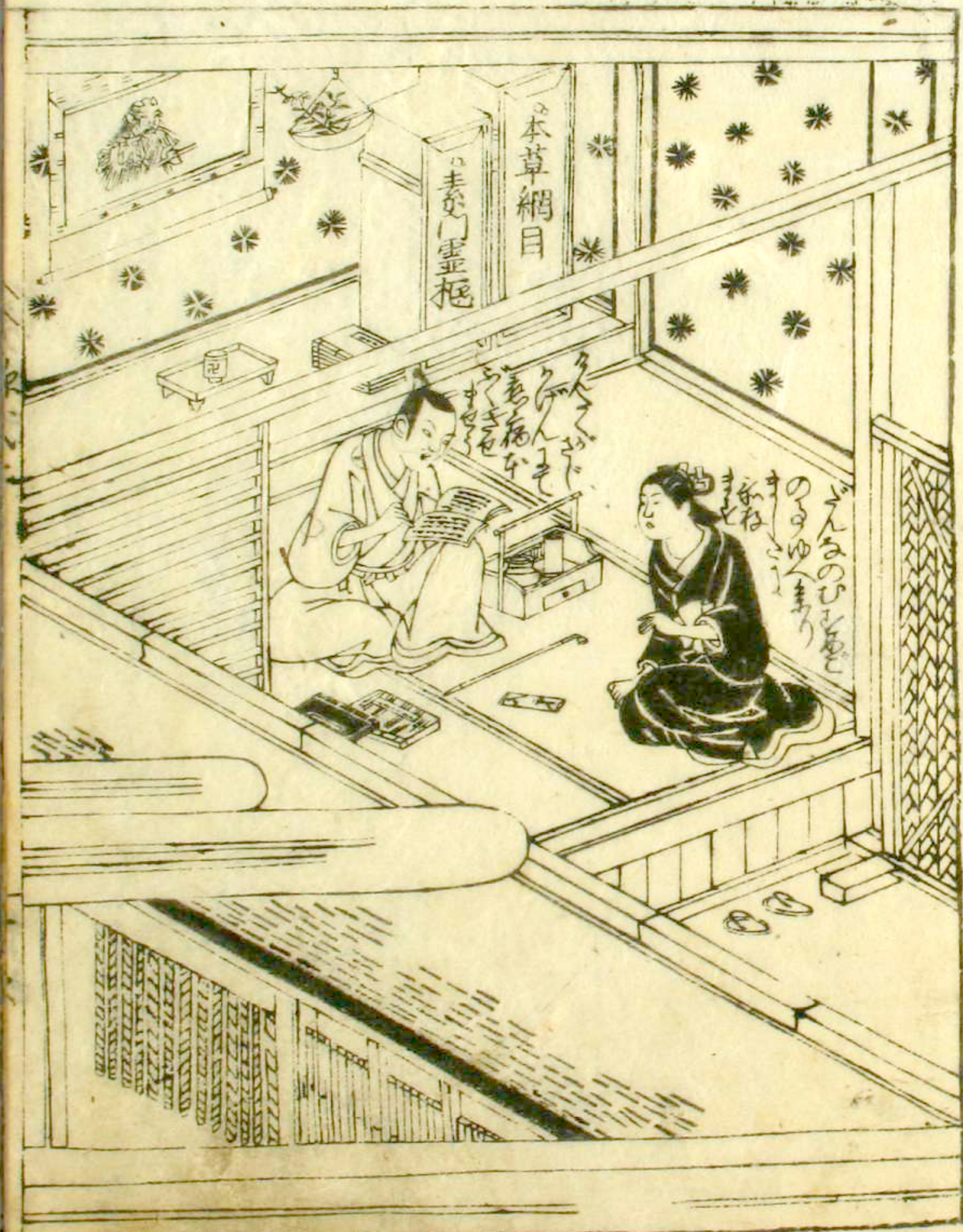


つ。時くい。影よりもちきりし。ある時。い。こ。ひ
細り。け。と。引。鼻。息。も。せ。け。り。く。ま。し。い。こ。ん
ま。う。の。み。を。る。が。り。さ。と。う。金。結。と。こ。ん
か。あ。い。さ。と。は。く。も。か。ま。い。さ。と。く。で。と。あ。い。わ。
物。い。ま。ぶ。ら。う。づ。だ。時。く。い。さ。づ。つ。い。と。せ。う。く。ん。あ。
氣。を。し。し。は。酒。ま。つ。の。中。れ。と。う。ろ。ろ。と。あ。い。さ。
へ。こ。計。程。め。ば。な。さ。び。こ。ん。あ。り。う。い。せ。り。ふ。さ。し
り。も。む。相。ま。の。ま。け。が。ま。ま。は。せ。あ。ま。づ。け。と。こ。ん
せ。と。か。う。い。せ。り。か。の。あ。で。海。と。う。く。と。か。づ。と。も
な。り。り。あ。り。あ。で。と。あ。い。さ。ま。は。な。が。め。ら。ぬ。い。さ。い。さ。い。
ひ。ろ。ろ。あ。わ。ぬ。う。う。ぬ。れ。て。あ。の。ま。な。あ。で。あ。い。さ。

ゆ。い。さ。さ。ろ。あ。う。い。あ。で。あ。う。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。
一の名人。す。あ。い。さ。と。も。と。び。め。これ。か。ら。め。い。さ。
く。お。情。が。う。う。あ。ま。つ。け。て。ひ。さ。が。の。づ。む。り。く
い。さ。と。の。こ。あ。い。さ。い。さ。中。入。る。あ。や。あ。い
う。ろ。ろ。う。い。さ。い。さ。い。さ。は。よ。我。と。さ。と。あ。て。あ。
で。お。吸。物。中。う。い。さ。い。さ。い。さ。我。の。む。こ。よ。あ。い。さ。
軍。卒。を。あ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。
込。今。約。後。富。へ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。
い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。
子。細。ら。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。
い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。い。さ。

毛ハ何事なりや。さうぞり。ずいの所ハいつハ此處也。おれ
ハお出合乃其のときんとあてしあふ入。只今此女は
かりじあるやぐりののさめぬ肉ナキと。は合さるく
先ぢとぞりと。あつは性ありをなれど。愛をも私
乃學又下。び中ハ醫學入。んが子綱目。まゝにそ
ぞりて右教令者。おてももとあひでこやううな
らぬ書物と。智恵も親しいべうと。計とれあつ
し。情状とて役士の評判。ゆき喜梅と。こより
ふか中と。ごめり。ふちあひと。うまう。いかにあへた
書。びげ。さい。さうく。よめ。ハ中。よへすれのみ。そ
うかい。や。ハ。中。さん。と。よ。ご。ざり。す。け。り。つ。ま。

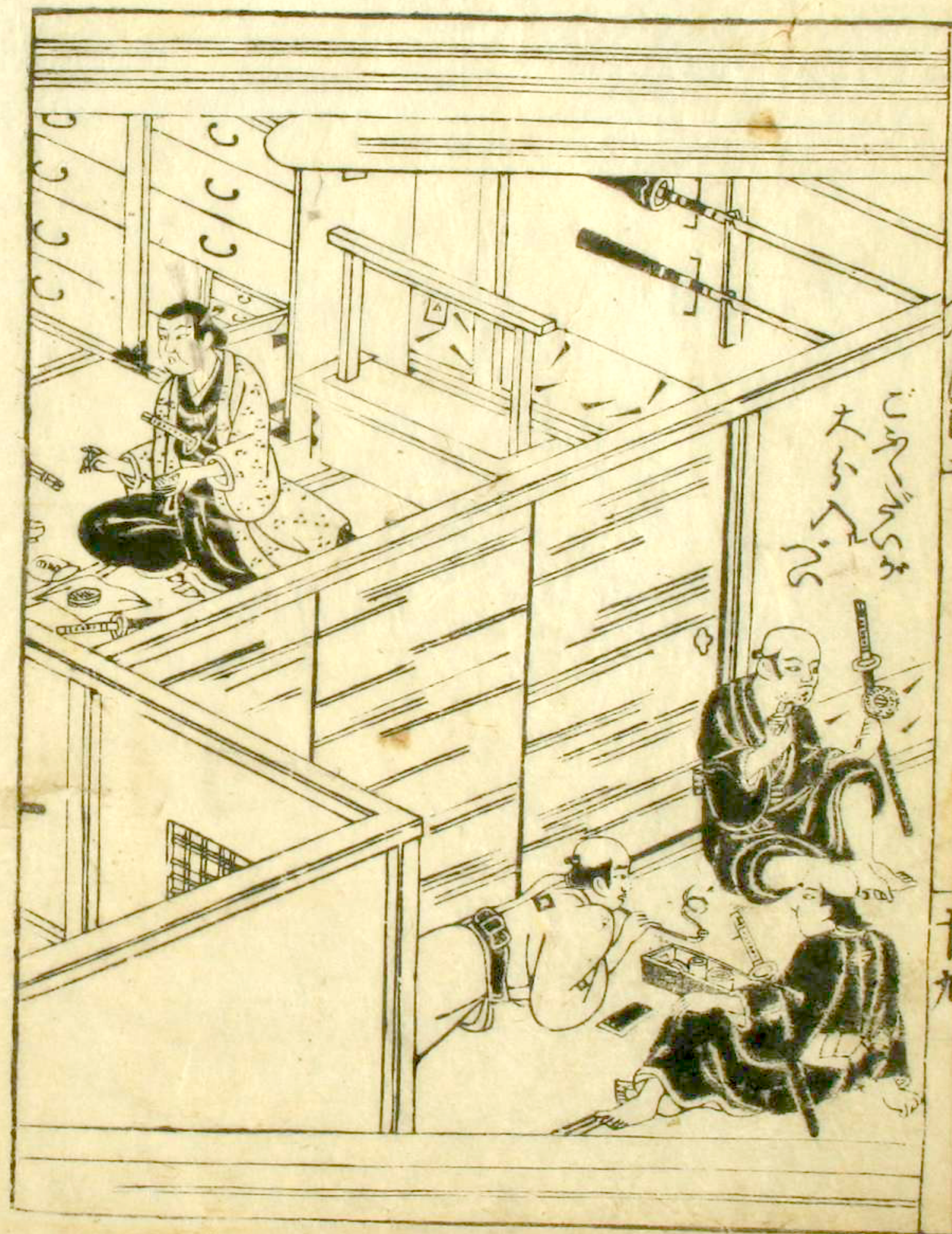
此評判を出し。流儀の上中トせんぐてあり
 中。に。びる生。勝。新。や。殿。よ。う。そ。り。と。を。付。よ。お。か
 中。と。う。へ。入。て。か。る。程。む。せ。の。よ。い。男。それ。中。生。勝。の
 評判。よ。い。所。へ。の。出。む。り。と。か。と。知。れ。さ。通。へ。こ
 る。い。ま。つ。る。事。余。の。義。よ。わ。ら。び。私。は。此。の。む。じ。と。か
 中。村。殿。よ。の。が。り。ゆ。め。う。つ。の。ご。と。と。ど。う。せ。あ。ふ。わ
 中。り。か。い。ご。う。そ。ん。ど。や。と。を。知。り。さ。う。も。あ。は。し。ま。う
 よ。う。う。せ。あ。ふ。ご。う。い。時。に。通。う。と。も。事。お。む。や。と。よ
 お。が。り。め。せ。ご。う。ご。う。の。を。さ。う。と。で。あ。い。し。め。んと。信
 合。し。う。と。よ。ご。う。あ。け。む。と。芝。居。斗。と。知。る。事。り。れ
 せん。つ。う。か。の。ふ。く。ご。う。と。や。毎。日。せ。い。つ。通。さ。す。と。信



おめでいふそのむくもさうか。おはたのれおつうい。海
とこさまでいねのふ調法といふのつくるをさう
かりたおあのをむむむ。けををををををををを
んどやうあやのふ。はまのふをををををををを
んのふとや内夜といふあけ中。先かいとぬこを
たれた。さうい。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
ぶ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
とわり葉ぢりあふのもさう。おれをうけぬ。おれを
中。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
は。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
日さんといふさう。

三 情はあはれ

歌あうらんあふのふ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
らどびる斗いどあふのふ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
切。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
より。近日をうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
あ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
て。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
と。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
さうい。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ
い。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれをうけぬ。おれ



のせめくもむせんうらぐもなうまに。只ちもこのよ
 らけくし。やうくあわのめくし。我とうかつと我
 とぐらん。かあわはととあひ。もあひそうお軍
 ちの旅宿リヤドよいそふ。おさびーうんとそんど三人
 へ令せ。あひ付のあちびをはんとあひとらふあひ
 さい。あああ入さどくのあふひ。ばるあひもすあふ
 つふ。そあふの酒はあてうま。今よぐういうて酒
 月も延く。いふくそあふ。あふ付るごあふ。あふ
 ぐいふ。あふあふ念とへうま。あふあふあふあふ
 ちちちち。あふあふあふあふあふあふあふあふ
 ちちちち。あふあふあふあふあふあふあふあふ

と申さん。おまははもとよりいへうづめ。なまうわえ
で殺し屋どぐろ。二人の女を顔合せりてわかいと争
とさるなど。おとしやあざむくおとめども一にふよ
ゆり身。さりながらいはれ三人のおとやく修らぬせ
とやうのがまこといひのむ。いふお女なれたとておが
わさうと取るとつ。いふう我らが男の人とわく。
そこの人の心も若かそう一つは身と死生。所々乃流る
びと高飛のさきとね。いふお女^人とて今さら
ほごといふて申す。我々よとてい中る男へなれば。
ちやけくへちやけくうと此の指^さ差より。世間仕事
代名と何^{いふ}のいふ也とて。おひまさとていさう。

卷之四

